

国際ロータリー第2570地区

行田ロータリークラブ

RI会長：グレン E. エステス シニア / ガバナー：橋田 弥寿男

会長：黒淵陽夫 / 幹事：島崎政敏

例会日：木曜日

午後12時30分開会

会 場：アドバンテスト

行田クラブハウス

クラブ会報委員会

委員長：中島捷二 / 副委員長：境野登章

委 員：岡田則之、島田修、反町清

大谷浩一、山本栄治

2004～05 国際ロータリーのテーマ

「ロータリーを祝おう」



CELEBRATE
ROTARY

100 Years

第1917回 夜間例会 [場所：商工センター] (3月24日)

来訪者のご紹介

日台RC青年交流事業研修会参加者

内山和希 さん

和田真由子 さん

会長挨拶 黒淵陽夫 会長



皆さん今晚は！

今日で3月の例会は最後であります。4月の声を聞くと、春という言葉が連想されてきます。また、卒業シーズンから入学シーズンへと移り変わり、希望に満ち溢れた若者が町中にあふれてきます。

しかしその希望にあふれる時期に10年前の3月20日午前8時すぎ、都内の地下鉄車両内に猛毒のサリンをまくという、日本中を震撼させた「地下鉄サリン事件」がおきました。まったくそれまで考えても見なかった無差別テロであります。このテロによって駅員や乗客など12人が死亡、約5500人の方々が重軽傷を負いました。

その後、青山総本部前での村井幹部の刺殺事件などが起こり、最後は上九一色村での強制捜査による麻原彰晃の逮捕がなされたわけです。

いまだにその事件のトラウマから逃れられないでいる被害者の方々のことを考えると、一日も早い裁判の結審を望むところであります。

裁判の結審といえば昨日、ニッポン放送とライブドアの問題に対して、東京高裁がニッポン放送のフジテレビに対する新株予約権発行に対して、東京地裁の仮処分命令を支持し実質的に法廷闘争はライブ

ドアの全面勝利に終わりました。

各方面の評論家や専門家が色々な意見を言っておりますが、おおむね妥当な判決であったように感じました。

従来の考えで安閑として構えていると、これから何が起こるか分からないといった教訓だと思います。中小企業でも何が起こるかわかりませんので、アンテナを張り巡らして色々な情報を取っていきたいと思います。

さて、地区で行っておりますGSEについて先週の土曜日に委員会を行い、受け入れスケジュール等を決定いたしました。4月18日から25日まで、第5グループがお世話をすることとなっております。会員の皆様方にも是非ご協力をお願い致しますので、要請があったときには宜しく願いいたします。

先週の臨時理事会において親睦旅行の日程が5月26日、27日から19日、20日に変更になりました。連絡不徹底のため、皆様方によくご理解頂けなかったようですので改めてお知らせいたします。

本年度計画しておりました国際ロータリー100周年記念特別イベントの、「ピアノと朗読を楽しむ会」に出演依頼をお願いしておりました平野啓子さんと渡辺雄一さんとの日程調整がようやく決定し、その結果、5月28日(土)に行なうという事になりました。そのため、親睦旅行を一週早めたほうが会員の皆さんに負担が少ないだろうということで、急遽変更させていただきました。

どちらも行田ロータリークラブの重要な事業でありますので、皆様方の暖かいご理解と沢山のご参加をお願いいたします。

あすは白河ロータリークラブとの、年一回の親睦交流ゴルフコンペです。ゴルフコースも、田山委員長にロペゴルフクラブという素晴らしいところを設定していただいております。またクラブ対抗の競技もありますので、参加される方はがんばっていただきたいと思っております。

出席報告

正会員数	78名	●	メークアップ	1名
本日の出席者	32名	●	出席率	42.30%

幹事報告 島崎政敏 幹事

これから4月中旬頃までの主な予定

- ① 3月25日(木) 行田白河親睦ゴルフ
- ② 3月31日(木) 休会
- ③ 4月5日(火) 黒淵会長、白河クラブにて卓話
- ④ 4月7日(木) 例会：12時食事
会場：アドバンテスクラブ
- ⑤ 4月7日(木) 後期結婚祝い 18時30分より
会場：イズム
- ⑥ 4月17日(日) 地区大会
- ⑦ 4月18日(月)より GSE研修生受け入れ

委員会報告

ゴルフ委員会 田山委員長



明日、3月25日に白河RCとの交流ゴルフコンペが開催されます。行田を午前7:30に出発しますので、総合公園東側駐車場に集合して頂く様に御願い申し上げます。

日台RC青年交流事業研修

参加報告と御礼挨拶

1. 和田真由子さん



台湾での7日間は、私にとって思い出深いものとなりました。

はじめ4人1部屋での生活は、正直コミュニケーションとれるのだろうか、7日間も一緒に過ごせるのだろうかと不安になりました。私は英語が少ししか話せなかったのですが、ルームメイトの子達は理解してくれようと努力してくれ、次第に不安も消えていきました。

台北市内の観光で台湾の歴史や文化について触れる事ができました。特に印象的だったのは、玉蘭荘訪問と故宮博物館を見学した事です。

玉蘭荘にいる方々は、とても生き生きとしていて、とても優しく私達に接してくださいました。私もあんな風に年をとっていききたいと感じました。

故宮博物館は素晴らしい展示がたくさんあり感動しました。

その他、台湾独特の夜市を散策したりと充実した毎日を過ごす事ができました。

サヨナラパーティーでは、台湾と日本の人々が協力して運営をし、素晴らしいパーティーとなりました。

私達は中国語と日本語を交えた歌を出し物として歌いました。私がバスの中で中国語の紹介文の練習をしていた時、3~4人の台湾の人達が親身になって発音を教えてくれました。その時、台湾の方々のあたたかみを感じました。

日に日に台湾の人達との交流が深まるうちに、いつしか日本に帰りたくないという気持ちができました。

今回、このような貴重な体験ができた事は一生の宝物です。また、日本を見つめ直すいい機会にもなりました。

最後にこのような機会を与えて下さったRCの方々本当に感謝しております。どうもありがとうございました。

2. 内山和希さん

まず初めに、今回はこのような研修会に参加する機会を与えて頂き、ありがとうございました。

研修会に参加して新しい友人も出来、また台湾という国の文化や生活を知る事ができ、とても良い経験ができたと思っています。台湾で出来た友人とは今でもE-Mailやチャットを通して連絡を取り合っています。

私は留学した経験があるとはいえ、やはり現地へ着いた初日は不安が多少ありました。現地へ着いたら一週間、日本人2人、台湾人2人の4人で同じ部屋で共同生活をする事と知らされ、中国語は挨拶程度しか知らない私は、どうやって意思疎通をはかればいいのか？ また生活環境や文化も国が違えばまったく違う訳なので、一週間も一緒に同じ部屋で生活できるのか心配でした。

しかし、幸いにも台湾人の子達は英語がとても流暢で英語で会話する事ができたので、特に不自由する事はありませんでした。日本では余り英語を使う機会がないので私にとっては、英語で会話出来る良いチャンスだったと思います。

一緒に生活していても彼女達が同年代だったという事もあり、2日もすれば仲良くなり文化の違いなど感じる事はありませんでした。逆に国が違って興味、感心のある事は同じなのだ実感してしまいました。

台湾の歴史や文化も故宮博物館などの見学を通して知る事ができたと思います。

食生活の面でも特に困る事はありませんでした。台湾の食事は私の口にとっても合い、行く先々で色々な物を食べていました。特に台湾の観光名所の1つ

(次頁へつづく)

でもある夜市には、たくさんの食べ物が揃っていて目移りしてしまう程でした。

また夜市には台湾人の国民性がとても強くでいて、台湾人の活気や迫力に驚かされました。今回の研修会を通して、たくさんの友人を作る事ができ、異文化交流もする事が出来ました。しかし、一週間では台湾の文化など、ほんの少ししか知る事ができないと思います。ですので、また機会を作り個人的に台湾の友人を訪れて、もっとたくさんの台湾の事を知りたいと思っています。



と生死は生を中心に置く考え、死生とは死を根本に置く考え方という事ができるわけです。さらに申し上げるならば、死生とは自然科学的な考え方という事ができ、死生とは宗教的、更に言うならば仏教的な考え方であると申し上げる事ができます。

仏教はインドの国（カピラ城）で出生されたお釈迦様の教えであります。お釈迦様の出家修行の原点は阿含経などの経典に説かれる、四門出遊の由来によります。すなわち青年釈迦が城の四門から外出して「生」・「老」・「病」・「死」の人間一生の現実を目にされ、この現実世界は一切皆苦の世界であるという事を再認識され、その苦からの開放策は何であろうかと思慮された処にあります。

「生・老・病・死」とは一刻一刻の変化であり、その事を仏教では「諸行無常」、「諸法無我」というのであります。私はこれを「動詞＋ing」の現在進行形の世界と名付けております。

仏教の考え方の根本は、「この宇宙世界に於いて常住不変なる存在は一つとしてない」という考え方です。（※絶対的存在の神を認める宗教との違いがここにあります。）



3. 内山俊夫会員

娘が無事に帰ってきてくれて、親として安心しました。城中R Cの御子さんと一緒にその家を訪ねたところ、大変立派なお宅なのでびっくりしたそうです。

良い体験をさせて頂いて、ありがとうございました。

卓 話

「我が死生観について」

盛徳寺住職 中島捷二会員



人間十人十色と申しますが、各人それぞれの考え方があるわけですし、死生に対しても色々な考え方や捉え方があっても良いと考えます。ですから私自身の問題と捉えてお話を進めて行きたい思います。

まず最初に生死（観）と死生（観）とは違う物であると考えております。国語の文法で倒置法があります。これは文字を上下に入れ替える事により意味合いを強くするものであります。それから考えます

お釈迦様がよく説法をなされた場所として有名な霊鷲山、祇園精舎などがありますが、これらの場所は死体置場であったという事が歴史的事実として証明されております。特に霊鷲山は秃鷹の住む山で鳥葬の場所であります。

余談ですが「到る所に青山あり」という格言の青山とは青山陵墓のことで、「人間到る所が死の場所であるとの自覚を持って生きていきなさい」という事です。

お釈迦様が何故、死体置場を修行の場所にされたかということ、「白骨観」、「青瘀観」という修行方法がそこに存在します。「白骨観」、「青瘀観」は骸骨や、まさに今死逝こうとする人間を直視して自己のあるべき本当の姿を想定しなさいという修行であります。

時代は異なりますが日本国の室町時代に一休宗純という禅僧が、正月に杖に骸骨をくくり付けて「正月は冥土の旅の壺里塚、嬉しくもあり、嬉しくもなし」と町中を説法されて歩かれたという説話があるものであります。

経典によりますと、ある時、お釈迦様は知人の葬式に出席され、ねんごろなる弔意を示された後の帰り道でアナン尊者（釈尊の従兄弟で45年間釈尊の身の回りの世話をなされた人で常在侍者と呼ばれた

（次頁へつづく）

人)に対して、「いずれ死に逝く身でありながら、今在るは難し」と申されて、「生きている事、生かされている事」の有難さの再認識をすることが葬儀出席者の習いである事を提唱されたのであります。

また別の視点から考察いたしますと、仏教教学は因果律を教学の基盤とする考え方があります。皆様御承知の「善因善果・悪因悪果」などの考え方も、その一部です。

お釈迦様は阿含経（仏教の根本聖典、原始経典などと言われる）などで「此れ在るによりて彼あり、彼在るによりて此れ在り。此れ無くして彼無く、彼無くして此れ無し。」と説かれ相互依存の因縁の法を開示されたのであります。縁結びといいますが、まさに縁と縁が結ばれて、はじめてこの現実世界が構築されておるとい考え方であります。縁結びとは仏教思想そのものであります。結婚式は、僧侶に戒師を依頼して挙げる事が本来であり、葬式だけでは無いという事を改めて認識して頂きたいと思えます。

日本における死生観は武士の台頭、すなわち鎌倉時代前後に、その起源を見る事ができます。武士は戦場に赴き常に死と対峙するわけで、武士は心の安定を図るために座禅に関心を持たれ、座禅することにより死への恐怖を克服しようとしたのであります。京都五山、鎌倉五山と称される禅寺が建立なされたのもこの事に起因しています。

曹洞宗の開祖、道元禅師は、「生をあきらめ、死をあきらめるは、これ仏家一乗の一大因縁事なり」と申され、仏教の中で死生観が重要な位置を占める事を教示されておられます。

私自身の事から考察してみますと、色々な事が考えられますが、単純に説明しますと、私の身体中には脈々たる血液が流れております。この血液は私の父母と同一の物であります。また多くの私の先祖と同一の物であります。「血は、いのちであります。」私の体の中には多くの先祖と同一の血液が流れ、私の体の中には多くの先祖のいのちが生きておるとい事実を体解する事が重要であると考えます。

多くの私の先祖のころを我がころとして生きていく。常に私の体内に先祖様方の存在を確信して生きていく事が大切であると考えています。

最後にお釈迦様の御通夜の席での出来事を申し上げます。

お釈迦様がお亡くなりになりますと、多くの弟子たちが集結したそうです。それぞれ弟子達は生前のお釈迦様との交流に花を咲かされたそうです。

お釈迦様との思い出は尽きる事無く、東の空がしらじらと明るくなった時に、この悲しみの席に居られたアナン尊者とアヌルダ（精進第一の弟子）というお弟子2人が気付かれた事があったという事です。曰く「私達はお釈迦様との思い出ばかりを語り合っていたが、それ以上に最も大切な事を忘れていたのではないだろうか？ それは私達釈迦弟子がお釈迦様の心を我が心と頂いてお釈迦様の精神を活かして生きて行く事こそ重要な事であるのではないだろうか。」という事です。このことが御通夜の起源とされています。

死に対峙して生を活かす事、これが私の死生観であります。

ニコニコ報告

☆黒淵会長

中島さん、本日は卓話ありがとうございます。
内山和希さん、和田真由子さん、今日は日台交流の報告ご苦労さんです。

☆島崎幹事

田山ゴルフ委員長様、地区大会ゴルフ、白河ゴルフ、三クラブゴルフと度重なりますが、宜しくお願いいたします。

☆永島武雄会員

お蔭様で行田の歴史再発見、笄掘女性の強さに関心致しました。

☆小山会員

中島会員、卓話ありがとうございます、心して拝聴いたします。

行田病院前セブンイレブン、オープン致しました。本日は予約弁当お買い上げ誠に有難うございます。

☆内山会員

本日は娘が和田さんと出席しました。お世話になります。

又、本日PETSが有り次年度が近くなりました。

☆山本憲作会員

中島さん、卓話楽しみにしています。

☆中島会員

本日は卓話でお世話になります。

☆中島様、御講話ありがとうございます御座います。

佐藤会員、渡辺会員、山田会員、武笠会員
湯本会員、稲垣会員、清水泰治会員、石渡会員
鈴木康夫会員、森島会員、小林会員、持田会員
小池利昌会員、坂本会員、植田会員
古沢勇治会員、小沢会員、田山会員、境野会員

合計¥33000

